北海道学生卓球連盟 副幹事長　水澤 侑太郎

この度は日学連アゴラに文章を掲載していただき誠にありがとうございます。

こういった文章を書かせていただく機会は今までなかったので嬉しいと同時に何を書こうか非常に迷ってしまいます。そこで、北海道学生卓球連盟が今取り組んでいる全日学選抜の大会準備、その中で私が担当させていただいた仕事やその感想について共有できればと思います。拙い文章かもしれませんが最後まで読んでいただければ幸いです。

私は2021年の夏ごろに学連に入りそれから仕事をさせていただいているのですが、今年は全日学選抜が北海道で開催されるということで様々な仕事が舞い込んできています。先ず私が驚かされたのは大会の規模の大きさです。今までにない多くの関係者の方と関わる機会があり大変だと思うことも多くありましたが、自分が取り組んだ仕事が形になるのは非常に楽しいと感じています。

私は台配置などの会場図を作成することを担当したのですが、自分が頑張って作成した案が没になることが何度かあり少し落ち込むと同時に大学に入る前、大会運営について知らなかった頃の自分が出場してきた大会の裏では様々な人が努力してくれていたということをしみじみと感じました。理事の方にも協力していただいたおかげで一度は会場図を完成させたのですが、ラボライブさんとのカメラ配置に関して協議した結果、再度修正が必要になった際はふて寝しました。

こういった仕事をする際にいつも感じるのは歴代幹事長の凄さです。私が学連に入った時の斎藤幹事長は同学年の学連役員がおらず少ない人数ながらも大会を運営していました。元幹事長の紙井幹事長もほぼワンマン体制で学連を運営しています。現在取り組んでいる全日学選抜に関しても紙井幹事長がすべてに仕事を管理し、必要に応じて各役員に仕事を割り振っています。あと半年で自分がその立場になると考えるとかなり不安な気持ちになりますが、これからも精進し北海道学連を引っ張っていけるようになりたいと思っています。

まだまだ全日学選抜の準備は終わらず、秋季大会や大学の試験などかなり厳しいスケジュールになりますが、北海道学連で力を合わせ頑張っていこうと思います。

最後まで読んでいただきありがとうございました。